

資料6

＜実践6＞「俳句をもとに」 子供たちのつくった俳句

夏

- ・ 風鈴の 音色は空の 星のよう
- ・ 夏の朝 入道雲が 光る空
- ・ 真夏日に すずしさはこぼ 風鈴が
- ・ 夏の夜 夜空に光る 天の川

春

- ・ 春の風 花びらのせて たびをする
- ・ 美しく さくらがひらひら まいおりる
- ・ さくららり 春だけ見れる 花の雨
- ・ 春空に なつかしいあの 友の顔

冬

- ・ 白い道 歩くと足あと ついていく
- ・ さむくなり こたつの中で ひとねむり
- ・ 暗い夜 光る粉雪 冬祝う
- ・ 山の中 雪まい落らる 真っ白に

秋

- ・ 秋野原 この指止まれ 赤とんぼ
- ・ 通学路 木々の歯の色 夕焼けに
- ・ 穂がなびく 赤い夕日の 空の海
- ・ 月光り 稲穂がゆれては 風がふく